



神奈川県議員
き さ き
木佐木 ただまさ
日本共産党

いのちとくらし
守る政治をご一緒に

<プロフィール>

- 神奈川大学法学部卒
- 元法律事務所職員
- よこはま健康友の会副会長
- 横浜東民商顧問
- 弓道初段 1984年生まれ

県議会の最終日

反対討論に立ちました



2018年12月21日 本会議場

神奈川県議会は12月21日に最終日に向かえました。私は日本共産党を代表して、今議会に提案された議案のうち、税金の使い方として納得できないものへの反対討論を行いました。しかし、採決の結果、賛成多数で県知事が提出した全ての議案が可決しました。民意に背を向ける議会を変えなければなりません。

子ども達が楽しんでいるプールを廃止して、何にお金を使うのか

今回、横浜市港北区の篠原園地のプールを廃止する方向が出されました。これは、改修費約2億円を捻出できないという理由からです。県の一般会計1兆8千億円の0.0001%です。存続を求める36団体から2549筆の陳情が提出されました。地域で障がい児や幼児・小学校低学年の子どもたちが安心して遊べるかけがえのない水場は、存続させるべきです。地域住民からの

切実な要望よりも、他の事業が優先して進められることについては到底賛成できません。

公園は公が責任を持つべき

「Park-PFI」という制度を県立公園に導入しようとしています。この制度は、公園に飲食店等の収益施設の設置、管理を行う民間事業者を公募により選定し、その収益を公園施設の整備・管理に還元するものとされています。

問題は、民間事業者が収益を追求し、公共施設である都市公園を都市開発の一部として自由に使用することから、公園本来の機能が損なわれるような施設設置や運営が懸念されていることです。住民の意見を反映するための仕組みもありません。

都市公園の設置目的から言っても、公が責任をもって住民に提供すべきものであり、公園の維持管理を利用者負担で賄おう

みんなで沖縄の海を守ろう!!



12/14、ルールと民意を重んじるべき政府が、沖縄県の民意を踏みにじり辺野古への土砂投入を強行。その日の夜に、はたの衆院議員、古谷市議、駆けつけてくれた有志12人とともに鶴見駅東口で抗議の意志を示すアピールを行いました。

モデルのローラさんも呼びかけた米ホワイトハウスに向けた土砂投入反対のネット署名も世界中から10万筆以上が集まり、安倍政治のやり方に怒りが吹き出しています。

とすることは法の趣旨をゆがめることにつながります。こうした制度は神奈川県立公園に導入すべきではありません。

なぜ、知事や議員の期末手当を一般職員に合わせて自動的に上げるのか

知事・副知事や議員などの特別職における期末手当の引き上げられます。人事委員会の勧告に基づき一般職員の期末手当なども引き上げられますが、特別職は、既に十分な報酬や手当が現在も支払われており、一般職員と同じように考えるべきではありません。

県は、財政難を理由に、住民の切実な要望を後回しにしておきながら特別職の手当の引き上げを行うことは県民の理解を得られません。